

■ 〈時〉をつつなぐ言葉

牧野 陽子著

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の「怪談」は、日本各地の怪奇伝説を「再話」した名作だが、実は伝説をそのまま採録したのではなく、原話に基

づきながらも独自の解釈が施されている。研究が張りと詰める

ていたのか。ハーンは怪異な世界に近代文明が置き去りにした「薄明の領域」を見だし、そこに自分の内面世界を託したのではなかったのか？ 熟練の比較文学者がハーンの再話文学の秘密に迫る知的刺激に満ちた一冊。

（新曜社、3990円）